

美浜町長  
山口治太郎様

## 美浜 3号事故 2年に際し、美浜原発の閉鎖を求めます 原発に頼らない新しい町づくりをめざして下さい

若狭連帯行動ネットワーク

2年前の8月9日、関西電力美浜発電所 3号機で復水系配管破断事故が起きました。

事故で亡くなった下請け作業員 5名の遺族の方々の怒りと悔しい思いは今なお絶えることがありません。重軽傷を負われた作業員 6名の方々の痛みは治まらず、刻み込まれた心の傷は癒えることがありません。

しかし、美浜 3号事故 2年を2週間後に控えた7月25日、関西電力は、美浜 3号を9月下旬に再起動し、2週間の試験運転を経て10月には営業運転を開始すると発表しました。これは遺族の心を逆なでする居直りであり、無責任な事故の幕引きだと言わざるを得ません。

福井県警と検察による膨大な資料の捜査が2年にわたり続いています。その結論はまだおりていません。「起訴」の結論が下され、関西電力の刑事責任が司法の場で裁かれるのが先ではないでしょうか。

美浜 3号は建設当初30年と言われた寿命を今年12月に迎えます。大事故で5名の命を奪った原発がなぜ寿命を超えて生かされ続けるのでしょうか。美浜 1号や 2号も30年を超え、40年に近づいています。私たちは、過去に大事故を起こし、老朽化し、耐震安全性も疑われる美浜原子力発電所の全面閉鎖を求めます。

そのため、貴職には、美浜原発の閉鎖に理解を示して頂き、原発に頼らない町づくりをめざして下さい。ここに強く要請致します。

私たちは本日、関西電力に別紙申し入れを行いました。

貴職もご存じのとおり、関西電力の品質保証システムはその掛け声とは裏腹にズサンな状態のままです。30年間でできなかった品質保証システムが、なぜ今確立されたと言えるでしょう。関西電力がその責任を果たす道は美浜原子力発電所の自主的閉鎖以外にないと、私たちは考えます。

政府の地震調査研究推進本部は美浜原発周辺の陸域と海域の活断層が連動して兵庫県南部地震を超える大地震が起こる危険性を指摘しています。ところが、関西電力はこの指摘を無視し続けています。原発の場合はなぜこのような大地震を想定する必要がないのでしょうか。私たちは美浜原発等の耐震問題について関西電力に別紙の質問書を提出しています。この問題をぜひ、美浜町でも取りあげ、検討して下さい。

私たちは、美浜 3号事故 2年を期して、原発重大事故が起こる前に美浜原子力発電所を全面閉鎖するように関西電力に強く求めました。30年を超えた美浜原子力発電所は遅かれ早かれ閉鎖されます。老劣化に伴い、想定外の事故が起き、重大事故へ発展する危険も危惧されます。町民と国民の安全・安心のためには、1日も早い閉鎖が望まれます。

原発に頼らない町づくりを急いで下さい。「日本で初めて脱原発への道を歩み始めた原発立地町」として歴史に名を残して下さい。美浜町が原発に頼らない新しい町として再生されることを強く期待します。

別紙：

1. 関西電力社長宛 「美浜 3号事故 2年に際し、美浜原発の全面閉鎖を求めます」(8月9日)
2. 関西電力社長宛 「耐震設計審査指針の改訂案を踏まえた地質調査に関する公開質問書」(7月24日)